

科目名単位数		絵画		(4)単位	学習レベル	標準
<p>学習目標</p> <p>いろいろな表現様式による絵画表現を通して、表現と鑑賞の能力を高める。</p>						
学期	学習内容			学習のねらい		提出物
前期 (4月～9月)	4月	鉛筆デッサン	各自でテーマを選定して制作する。 静物・人物・風景・構想画等	アクリル画の幅広い表現方法、絵の具の特性を理解する。 主体的で個性的な表現力を培う。		作品
	5月	水彩画				水彩絵の具の特性を活かして多様な表現方法を試みる。
	6月	生花や器物をポストカード(水彩用)にスケッチして絵手紙を描く。	静物、人物、構想画、等) ・アクリル画の幅広い表現方法、絵の具の特性を理解する。 ・キャンバスを利用することで、紙に描くこととは異なった感触を体感する。		作品 アイデアスケッチ	
	7月	アクリル画				
9月	混合材料による絵(ミクストメディア)	自分の日常生活の記録を作品化する。	複合的表現を理解する。 複数の表現形式を構成する能力を高める。			
後期 (10月～3月)	10月	手作りのキャンバスに描く	自分に合ったキャンバスを手づくりして、地塗りも工夫する。 いろいろなモチーフから1点を選び描写する。	既成のキャンバスサイズにとらわれず自由な形を考える。 地塗りやマチエルは材料に幅広く工夫できることを理解する。		作品
	11月	抽象表現				現実の世界を再現するのではなく絵を構成している点、線、面色彩動勢と言った要素でつくられていることを理解する。
	12月	具体的な形ではなく線そのもの、色彩そのもの等で構成した作品を制作する。	見る人を引きつけ表現内容を発想する能力を培う。 まんがは時間経過、人間愛、自然愛など豊かな感情や技術が必要なことを理解する。		作品 演習プリント	
	1月	まんが				1コマ～4コマ、まんがの制作
	2月	世界情勢、社会現象、身近な話題をもとに発想する。				
3月	年間のまとめと鑑賞	作品の講評、鑑賞を通して表現の大切さ喜びを知る。				
<p>評価の観点と方法</p> <p>① 美術への関心、意欲、態度、鑑賞の能力 ② 発想や構想の能力 ③ 創造的な能力</p> <p>方法: 実技課題の成績点、アイデアスケッチ等の提出物、学習態度、出席状況を総合的に評価する。</p>						
使用教科書・副読本					実習費	3,000 円
<p>教材・道具等</p> <p>絵の具類(アクリル・水彩・ジェッソ・他)、絵画用具、キャンバス、絵画用具、各種紙類</p>						